

所属	人間社会学部・公共社会学科	職名	准教授	氏名	佐野 麻由子
----	---------------	----	-----	----	--------

1. 教員紹介・主な研究分野

1999年立教大学社会学部社会学科を卒業。2006年3月立教大学大学院社会学研究科社会学専攻博士課程修了。博士（社会学）の学位を取得。お茶の水女子大学非常勤講師、フェリス学院大学非常勤講師、立教大学社会学部助教等を経て2012年10月に本学着任。

主な研究分野は、社会学の中でもジェンダー、社会運動（変動）。「社会的課題を解決するための意図的な社会変革はどのような条件下で可能か」という関心のもと、(1) ネパール地域をフィールドに社会的達成における男女の非対称性を生み出す社会構造、その維持/変革につながる要因の社会学的分析、(2) 左研究の知見の開発援助政策への応用および還元に取り組んでいます。

博士前期課程在籍中の2000～2001年に立教大学派遣交換留学生としてネパール国立パドマ・カンニャ・キャンパス・ウイメンズ・スタディ・コースに在籍。また、2003～2005年の期間に日本学術振興会特別研究員奨励費でネパールでのフィールドワークを実施するなど、長年ネパール社会に関わってきました。現在は、「ネパールにおける市場化・準市場化と男児選好」という研究テーマで「失われた女性たち（男児選好による選択的中絶、少女売買、女兒の育児放棄）」の促進要因を解明することに取り組んでいます。

2. 研究業績

①最近の著書・論文

<著書>

佐藤寛・浜本篤史・佐野麻由子・滝村卓司，2015，『開発社会学を学ぶための60冊：援助と発展を根本から考えよう』明石書店。

佐野麻由子，2013，「身体経験にみるジェンダー秩序とその変容」鈴木紀・滝村卓司編『みんなく実践人類学8巻 国際開発と協働-NGOの役割とジェンダーの視点』明石書店，157-192。

佐野麻由子，2013，「北の女性と南の女性—相対化と判断停止」伊藤陽一他編『グローバル・コミュニケーション—キーワードで読み解く生命・文化・社会』ミネルヴァ書房，105-122。

<論文>

佐野麻由子，2015，「ネパールにおける男児選好とその要因」『福岡県立大学人間社会学部紀要』第23巻第2号，17～32。

佐野麻由子，2015，「途上社会の貧困，開発，公正」宮島喬・佐藤成基・小ヶ谷千穂編『国際社会学』有斐閣，148～165。

②その他最近の業績

<学会発表>

Mayuko SANO, 13 July 2014, Economic, *Social Change and Son-Preference in Nepal* (oral presentation), RC06 (Committee on Family Research) programme of XVIII ISA (International Sociological Association) World Congress of Sociology, Pacifico Yokohama.

佐野麻由子，「開発教育手法の社会学専門教育との接合—その効果と課題」，2013年12月1日，第24回国際開発学会大会，大阪大学吹田キャンパス。

佐野麻由子，「ネパールにおける性比問題へのアプローチ」，2013年9月7日，国際ジェンダー学会 2013年大会，和洋女子大学。

<書評>

佐野麻由子，2013，「書評：笹岡雄一著『グローバルガバナンスにおける開発と政治——国際開発を超えるガバナンス』明石書店」『国際開発研究』第22巻第2号，73-75。

<報告書>

佐野麻由子・堤圭史郎，2014，『平成25年度研究奨励交付金報告書—持続可能な生計論に依

扱った社会的排除問題への取り組み』。

<研究ノート>

佐野麻由子, 2014, 「ネパールにおける市場化・準市場化と男児選好」『福岡県立大学人間社会学部紀要』第22巻第2号, 103-116.

③過去の主要業績

<著書>

佐野麻由子, 2012, 「開発・発展におけるジェンダーと公正—潜在能力アプローチから」宮島喬・杉原名穂子・本田量久編『公正な社会とは—教育、ジェンダー、エスニシティの視点から』人文書院, 240-258.

小川(西秋)葉子・川崎賢一・佐野麻由子共編著, 2010, 『〈グローバル化〉の社会学: 循環するメディアと生命』恒星社厚生閣.

佐野麻由子, 2007, 「平和とジェンダー」宮島喬・五十嵐暁郎編『平和とコミュニティ』明石書店140-162.

<論文>

佐野麻由子, 2012, 「開発援助プロジェクトとサステナビリティ—社会学的制度論からのサステナビリティの検討」『国際開発研究』第21巻1/2号, 47-57.

佐野麻由子, 2011, 「ネパールの社会運動組織の資源動員源にみる社会構造—予備的考察」『立教大学社会学部・応用社会学研究』第53号, 227-236.

佐野麻由子, 2010, 「社会学的制度論の開発プロジェクトへの応用可能性—「組織・制度づくり」の評価項目に向けて」『国際開発研究』第19巻第1号, 13-22.

<学会発表>

佐野麻由子, 「オープンシステムサイエンスからの開発とジェンダー再考」, 2011年9月18日, 第84回日本社会学会大会, 関西大学千里山キャンパス.

佐野麻由子, 「開発援助研究における社会学の立ち位置」, 2011年11月27日, 第22回国際開発学会大会, 名古屋大学東山キャンパス.

3. 外部研究資金

文部科学省科学研費補助金・若手研究B、研究課題名「ネパールの男児選好にみるジェンダー、カースト・民族、機能分化的社会関係」(課題番号15K117189)、(平成27~29年度)、3900千円。

4. 受賞

なし

5. 所属学会

日本社会学会、関東社会学会、国際開発学会

6. 担当授業科目

国際社会学Ⅰ・2単位・1年・前期、国際社会学Ⅱ・2単位・1年・後期、国際協力論・2単位・3年・後期、NPO論・2単位・3年生・後期、国際共生研究Ⅰ・1単位・2年・前期、国際共生研究Ⅱ・1単位・2年・後期、社会調査実習・2単位・3年・通年、公共社会学研究・2単位・3年・前期、公共社会学研究・2単位・3年・後期、卒業論文・6単位・4年・通年、地域教育支援研究ⅡB。

7. 社会貢献活動

国際開発学会編集委員会 委員

田川郡添田町総合戦略策定推進会議 副委員長 (2015年)

田川郡福智町男女共同参画審議会 委員長 (2015年)

8. 学外講義・講演

佐野麻由子「アジア女性交流・研究フォーラム（KFAW）主催アジア研究者ネットワークセミナー「ネパールの失われた女性たち」（2014年7月25日18：30～20：00 於北九州市立男女共同参画センター・ムーブ小セミナールーム）。

9. 附属研究所の活動等